



こどもクリニックニュース

NO. 246 令和2年7月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (2020年8月まで)

7月	1日	(水)	内科健診	にしき保育所 AM
	2日	(木)	1才半健診	加須・保健センター
	8日	(水)	内科健診	水深小 AM/PM
	22日	(水)	9ヶ月健診	加須・保健センター
	27日	(月)	3才健診	騎西・保健センター
	29日	(水)	3才健診	加須・保健センター
8月	5日	(水)	2才健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

※新型コロナウイルス感染の流行状況により、日程の変更があるかもしれません。

小児科休日診療の当番

令和2年10月までの当番一覧です。加須市では、11月～3月は元日を除くすべての日曜・祝日に、4月～10月は祝日に小児科休日診療を行っています。

月	日	曜日	当番医
7月	23日	(木)	福島小児科医院
	24日	(金)	ともながこどもC
8月	10日	(月)	つのだ小児科医院
9月	21日	(月)	ともながこどもC
	22日	(火)	加藤こどもC

※診療(受付)時間は9:00～12:00です。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

休診の予定

8月23日(日)～30日(日)

なお、盆期間は臨時の休診はありません。



感染症の情報

埼玉県全体で、すべての感染症が少ない状態が続いています。その理由は、多くの人々が「新型コロナウイルス感染症」への対応をしっかり心がけている効果だと考えます。ただし学校や幼稚園、保育園などが通常の状態に戻りましたので、今後はいろいろな感染症が増えてくることが予想されます。

夏に子供の間で流行する代表的な病気は、手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱などです。高熱が続いたり、口内炎が出来て食事が摂れなくなることもあります。特効薬はありません。

手洗いはすべての感染症の予防に有効です。またカゼ症状のある方はマスクや咳エチケットを心がけて下さい。

熱中症に注意!!!

初夏のように暑い日も増えてきました。こんな時期は小さなお子様の体温の管理に注意が必要です。とりわけ赤ちゃんは自分で服装の調節ができません。つい着せ過ぎていると、いつの間にか体温が上がる(熱が出る)ことが良くあります。あせも等のお肌のトラブルも増えてきます。

気温の変化に合わせてお子様の服装を調節しましょう。

※マスクの着用について

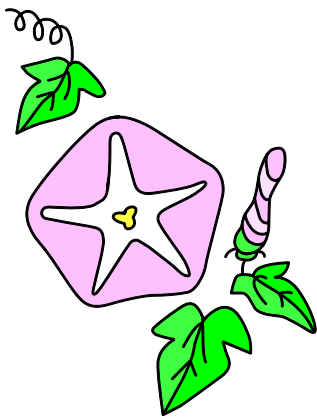
マスクを着けていると、吸い込む空気の温度が上がり、熱中症になるリスクが高まる可能性が指摘されています。屋外で、他の人との間隔が十分離れていれば、マスクは不要だと思います。

また1～2歳までの赤ちゃんは、マスクで呼吸困難になったり、突然の嘔吐の時に窒息する危険性も危惧されています。小さなお子様は(理由は分かっていませんが)新型コロナウイルスに感染しにくいことが分かってきましたので、マスクは不要と考えられます。

新型コロナウイルス関連

国民全員が厳しい自粛生活を続けた結果、爆発的な流行は起こらずに済んでいます。まだまだ新型コロナウイルスが消滅したわけではありません。緊急事態宣言も移動の制限も解除されましたので、これから第二波、第三波が襲ってくる可能性は十分あります。

特効薬はまだ見つかっていないし、ワクチンの開発もまだ時間がかかりそうですし、世界中の方が接種できる目途は立っていません。当分の間は感染予防と日常生活のバランスを考えながら「付き合っていく」ことになりそうですね。



<予防接種は自粛しないで!!>

全国的にお子様のワクチン接種率が低下していることに対し、日本小児科学会が警鐘を鳴らしています。

ワクチンで予防できる病気は、お子様にとってはコロナよりもはるかに重い病気であり、その中でもとりわけ、0歳～1歳で接種するワクチンは極めて重要です。迷わず早めに開始しましょう。多くの小児科医院では予防接種専用の時間帯を設定し、一般の患者さんと接触しないように配慮しています。当院も同様の時間帯を設定していますし、通常診療の時間帯でも、ご希望があれば一般の待合室とは別の小部屋を用意できます。電話などでご相談ください。

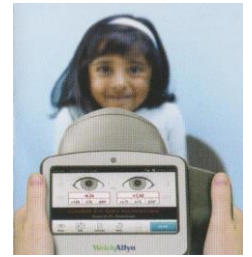
標準接種の時期が来たら早めに開始しましょう！
なお予防接種に来院される時は、できるだけ少人数（接種者本人とお母様だけ等）でのご来院をお願いします。

スポット・ビジョン・スクリーナー あります。

お子さまに弱視（近視、遠視、斜視、不同視等による視力障害）が無いかを調べる機械です。



検査のやり方はとても簡単です。



1メートルくらい離れて写真を撮るような感じです。少し薄暗い場所でお母さんの膝の上でおとなしくしていれば、ほんの数秒で終わります。

こどもの弱視は50人に1人くらいに存在し、治療は遅くとも5歳くらいまでに始めたほうが良いそうです。カゼ症状などで受診された時等に、スタッフに「弱視の検査をしたい」とお伝えください。

当院ではボランティア活動として無料で検査しますが、異常（弱視）が疑われた場合は規定の「検査料」や眼科への「診療情報提供料」をいただきます。いずれも保険診療の費用ですので、自費の負担金はありません。

夜間や休日の急病対策/電話相談

#7119・・・# 7（何でも）119番！

北川辺地域では 048-824-4199 へ

小児の救急電話相談（#8000）、成人の救急電話相談（#7000）、そして埼玉県救急医療情報案内を一つにまとめた相談ダイヤルです。

これさえ覚えておけば、子どもから大人まで、全ての方の医療相談や医療機関の案内まで対応してくれますので便利です。

当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



と
も
な
が
こどもクリニック

加須市下高柳 1633-1 Tel.0480-66-4150